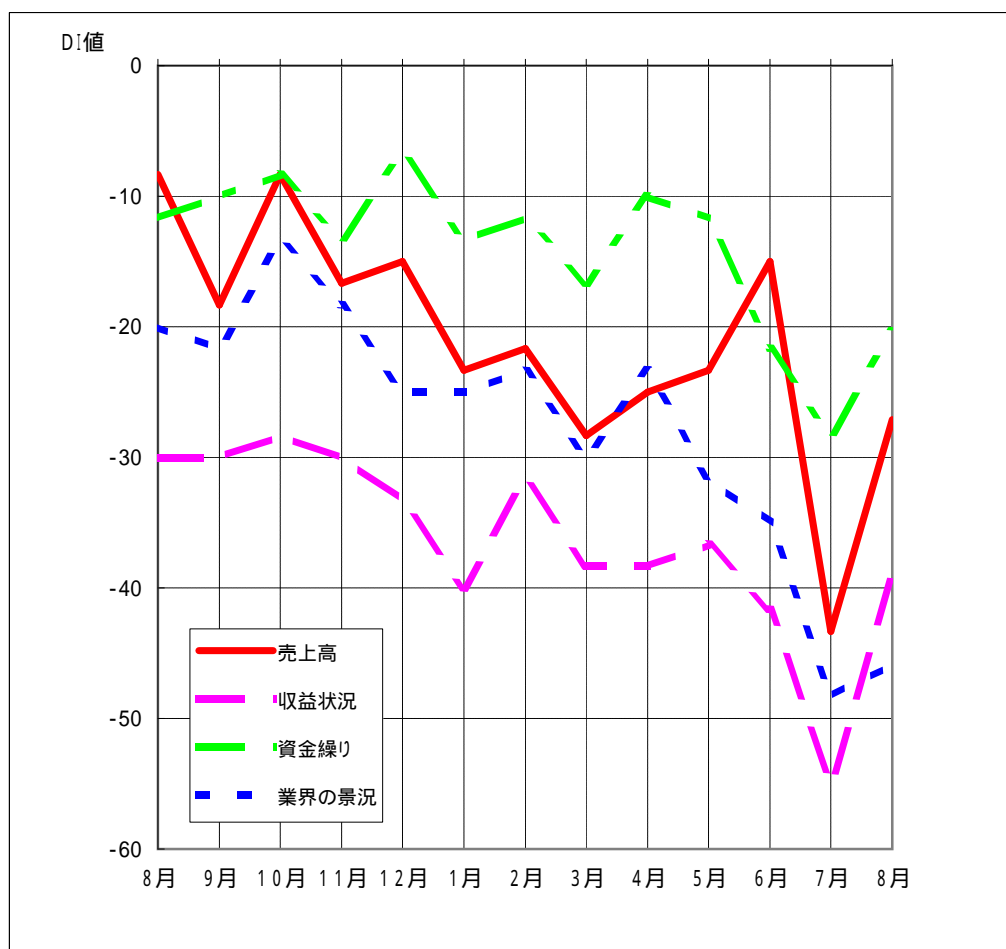


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成18年8月～平成19年8月

単位:ポイント



	H18					H19							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	-8.3	-18.3	-8.3	-16.7	-15.0	-23.3	-21.7	-28.3	-25.0	-23.3	-15.0	-43.3	-27.1
収益状況	-30.0	-30.0	-28.3	-30.0	-33.3	-40.0	-31.7	-38.3	-38.3	-36.7	-41.7	-55.0	-39.0
資金繰り	-11.7	-10.0	-8.3	-13.3	-6.7	-13.3	-11.7	-16.7	-10.0	-11.7	-21.7	-28.3	-20.3
業界の景況	-20.0	-21.7	-13.3	-18.3	-25.0	-25.0	-23.3	-30.0	-23.3	-31.7	-35.0	-48.3	-45.8

7月は中越沖地震の影響で各項目ともかなりの落ち込みが見られたが、今月に入り緩やかではあるが回復感が見られるものの、前年同月でみると全項目で悪化している。「売上高」は前年同月より18.8ポイント悪化、マイナス20%台に推移。「収益状況」においては、9.0ポイントの悪化でマイナス39.0となっている。また、「資金繰り」については8.6ポイント悪化しマイナス20%台に、「業界の景況」については25.8ポイント悪化でマイナス40%台へと推移した。

組合の特記事項からは、製造業では、「鉄鋼・金属」の一部業種で堅調な受注があるものの、全体では売上減、収益悪化、景況悪化とする報告が多い。

非製造業でも、全体的に製造業同様で売上減、収益悪化、景況悪化とする報告が多い。

また、中越沖地震関連については、前月に比べ数は少なかったものの、風評被害による影響が出ているとの報告がいくつか見られた。

県内の中小企業は原油価格等の高止まりを中心に収益が圧迫され、先行き不透明で厳しい状況となっている。